

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年1月27日 文責:校長 森川 稔



むかし遊び

先日の授業参観でたこ揚げ遊びをした1年生ですが、先週は室内でむかし遊びを楽しみました。けん玉や福笑い、おはじき、あやとり、だるま落としなど、いろいろな遊びに取り組みました。うまく遊び方がわからない友達がいると教えてあげるなど、子どもたちの優しさも見えました。



中学校入学説明会

4月から中学校に進学する6年生が、田平中に行き、入学説明会を受けてきました。会場では、中学校の校長先生や担当の先生から入学に向けた説明などを聞き、そのあと、校内見学をして4月からの中学校生活を思い浮かべているようでした。今後は小学校において卒業に向けた取組をしつつ、進学に向けた準備もしていきたいと思えます。



給食週間に寄せて

24日(金)~30日(木)は給食週間です。今週は給食感謝集会もありますが、給食週間に係って、先週金曜日は縦割り班でふれあい給食を行いました。和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。

食べること「食」といえば、昨年末に下亀老人会の方にお世話いただき、5年生が押し寿司づくりに取り組み地元の郷土料理に触れる貴重な体験ができました。

さて、学校の食育の中心は言うまでもなく給食です。給食で子どもに与えたり学ばせたりできることは何だろう?メニューを見ながら考えてみました。



- 1 栄養たっぷりのメニューで健やかな体をつくる
- 2 夏野菜カレーや秋味シチューなどで季節を感じる
- 3 ちゃんぽんのエビで遠くインド洋まで思いを馳せる
- 4 中央アメリカ産の野菜で寒冷気候と無農薬農業の工夫を学ぶ
- 5 アジフライ, 新鮮な魚などで郷土平戸(松浦)の文化に触れる
- 6 みんな同じメニューの笑顔の会食で, 人権意識を身に付け友達をつくる
- 7 適切な量の配膳と時間内の完食, 片付けてわがままと好き嫌いをなくす
- 8 なにより, 湯気が立つ給食で人の温かさや“ありがとう”の心に気付く



給食は, その美味しさに加え, こんなに多くのことを教えてくれます。知識と心, そして体, 言い換えれば食を通して人を育てるのが給食といえるのかもしれませんが。

コロナの影響で, 学校においても, 黙食という雰囲気が定着し, 以前ほどではありませんが, 普段の給食は基本的にみんな前を向いて静かに食べる様子が見えます。しかしその分, メニューを見つめ, しっかり味わい, 食材や生産者, 調理してくれた人に想像を働かせる余裕が生まれています。給食指導の可能性を感じます。

薬物乱用防止教室

6年生を対象に学校薬剤師の平井 鮎先生をお招きして, 「薬物乱用防止教室」を実施しました。

子どもたちは, 違法薬物の名称や危険性はテレビやニュースである程度の知識を持っているのですが, 「依存症の恐ろしさ」や「乱用をやめても体はもとには戻らない」など, 薬物乱用の本当の怖さまではまだまだ知らないようです。



平井先生からは, クイズやもし薬物使用を誘われたらどのように断ればよいかをロールプレイングで体験させていただきました。担任の先生に薬物に誘う側を演じてもらって, どのように断ればよいか子どもたちなりに考えることができました。

薬物乱用防止とは, 「自分の生き方に関わる問題」であるとまとめていただき, 自分事としてとらえるいい機会になりました。

田平東小HPはこちらから→

